

研究業績リスト

著者	北海道医療大学看護福祉学部
雑誌名	北海道医療大学看護福祉学部紀要
号	17
発行年	2010-12-20
URL	http://id.nii.ac.jp/1145/00006317/

研究業績リスト

(2009年10月1日～2010年9月30日)

人間基礎科学講座

教授：ハワード・N・ターノフ， 館山 碧，
森田 勲
准教授：薄井 明，小澤 次郎
講師：鎌田 禎子，櫻井 潤

(1) 著書

- 1) 薄井 明 (編著)：『社会福祉士国家試験完全対策 必修事項と範例問題 I (人・社会・生活と福祉編) 2011』，株式会社みらい，97-145，2010. 7.
- 2) 小澤次郎：「法華寺」，志村有弘・奥山芳広共編『社寺縁起伝説辞典』，戎光祥出版株式会社，439-440，2009. 12.
- 3) 櫻井 潤：「介護保険制度と地域」，渋谷博史・櫻井潤・塚谷文武『福祉国家と地域と高齢化』，学文社，91-122，2009. 12.
- 4) 櫻井 潤：「日本の社会保険と地域：21世紀の医療保障と介護保障」，渋谷博史・樋口 均・櫻井 潤編著『グローバル化と福祉国家と地域』，学文社，100-135，2010. 4.

(2) 論文

- 1) 櫻井 潤・渋谷博史・中浜 隆：「21世紀のアメリカ社会保障」，国立社会保障・人口問題研究所編『海外社会保障研究』，171号，4-15，2010. 6.

(3) その他論文

- 1) 薄井 明：「公共の場における迷惑行為：意識の構造的理解に向けて」，『北海道医療大学看護福祉学部紀要』，第16号，75-82，2009. 12.
- 2) 櫻井 潤：「(書評) 河音琢郎・藤木剛康 (編著) 『G・W・ブッシュ政権の経済政策：アメリカ保守主義の理念と現実』」，財政学研究会編『財政と公共政策』，第32巻第1号 (通巻第47号)，80-82，2010. 6.
- 3) 館山 碧：「植物の学名，英名，和名 (20)」，『北海道医療大学人間基礎科学論集』，第35号，A45-75，2009.
- 4) 館山 碧：「植物の学名，英名，和名 (21)」，『北海道医療大学人間基礎科学論集』，第35号，A77-110，2009.

- 5) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Autumn Issue, 149, 32-33, 2009, 10.
- 6) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Winter Issue, 150, 60-61, 2010, 1.
- 7) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Spring Issue, 151, 69-70, 2010, 5.

(4) 学会発表

- 1) 山口明彦・佐久間邦弘・森田 勲・須田 力：「発育期のラットの骨格筋成長に対するFGF-7の発言抑制の影響」，第64回日本体力医学会大会，2010. 9.

(5) 講演

- 1) 薄井 明：北海道社会福祉士会受験対策講座，北海道社会福祉士会，2010. 9.
- 2) 櫻井 潤：「日本の医療保険財政」，東京大学大学院経済学研究科「グローバル化と福祉国家」，2009. 11. 30.
- 3) 櫻井 潤：「日本の介護保険財政」，東京大学大学院経済学研究科「グローバル化と福祉国家」，2009. 12. 7.
- 4) 櫻井 潤：「日米の医療保険改革：新政権の前提条件と政策課題」，滝川三師会学術講演 (北海道滝川市)，2010. 2. 12.
- 5) 森田 勲：「北国の生活と体力」，石狩市筋力アップ教室基調講演，石狩市，2009. 11.
- 6) 森田 勲：「身体活動の重要性」，江別市健康づくり教育評価研修会講師，2009. 11.
- 7) 森田 勲：「日本フィットネス協会ADI研修会講演」，2010. 7.
- 8) 森田 勲：「積雪寒冷地における健康と体力」，当別町，2010. 8.

(6) 社会活動

- 1) 鎌田禎子：日本アメリカ文学会北海道支部第142回談話会「若手研究者のためのワークショップ “My Visit to Niagara” を読む」コメンテーター，2010. 3. 27.

2) 森田 勲：石狩市筋力アップ教室（1）～（12），
石狩市，2009. 11～2010. 2.

臨床福祉学科

<臨床福祉政策学>

教授：椎谷 淳二，鈴木 幸雄，志渡 晃一，
石川 秀也

准教授：志水 幸，佐々木明員

講師：佐藤 園美

助教：坂野 悦子

<医療福祉臨床学>

教授：中川 賀嗣，向谷地生良，白石 淳

准教授：長谷川 聡，近藤 里美，花澤 佳代，
大友 芳恵

講師：丹野 和子，志水 朱，今野多美子，
福間 麻紀

助教：高橋 由紀，池森 康裕

(1) 著書

- 1) 志水 幸監修：社会福祉士国家試験 [完全対策]
2010必修事項と範例問題Ⅱ（相談援助と地域福祉
編）。みらい。2009年10月。
- 2) 志水 幸監修：社会福祉士国家試験 [完全対策]
2010必修事項と範例問題Ⅲ（サービスに関する知識
編）。みらい。2009. 10.
- 3) 志水 幸：（福祉小六法編集委員会編）：福祉小六法
（2010年版）。
- 4) 志水 幸：（保育福祉小六法編集委員会編）：保育福
祉小六法（2010年版）。
- 5) 志水 幸監修：社会福祉士国家試験 [完全対策]
2011必修事項と範例問題Ⅰ（人・社会・生活と福祉
編）。みらい。2010. 7.
- 6) 志水 幸：社会福祉士国家試験 [完全対策] 2011必
修事項と範例問題Ⅱ（相談援助と地域福祉編）。み
らい。2010. 7.
- 7) 志水 幸：社会福祉士国家試験 [完全対策] 2010必
修事項と範例問題Ⅲ（サービスに関する知識編）。
みらい。2010. 7.
- 8) 向谷地生良：「実践 ワークショップから学ぶ
SST：実践から学ぶべての当事者研究」DVD・星
屑倶楽部 2009. 10.
- 9) 向谷地生良：「べてるの家の服薬アドヒアランス」
DVD・監修川村敏明・向谷地生良 エムシーメ
ディアン 2009. 10.

- 10) 向谷地生良：「技法以前・べてるの家のつくり方」
医学書院，2009. 10.
- 11) 向谷地生良：「やさしい統合失調症の自己管理」共
著医療ジャーナル社，2009. 12.
- 12) 向谷地生良：「わからないことは希望なのだー新た
な文化を切り拓く15人との対話」アルク出版，
2010. 1.
- 13) 向谷地生良：「べてるな人々2一人ってこんなにや
さしいんだ」一麦出版社，2010. 6.

(2) 論文

- 1) 今野多美子：病院崩壊の危機に直面した看護管理者
の心理状態と働き続けている理由，第40回日本看護
学会論文集（看護管理）。234-236，2009.
- 2) 今野多美子：病院崩壊の危機に直面した看護管理者
の就労への思い，北海道医療大学看護福祉学部学会
誌，6（1）：81-86，2010.
- 4) 志水 幸，小関久恵，山下匡将，宮本雅央，大月和
彦：島嶼地域の地域福祉のあり方に関する研究ー
新潟県粟島浦村の調査から。生活科学研究第32集：
1-12，2010.
- 5) 福間麻紀：北海道における救護施設利用者の分析，
貧困研究，3：98-109，2009.

(3) その他の論文

- 1) 佐藤園美，越田明子：「共生福祉」概念の構築とま
ちづくりにみる「共生福祉」の実証的研究 第2
報，長野大学紀要，31（2）：25-34，2009.
- 2) 椎谷淳二，尾形多佳士，谷中輝雄，志渡晃一：専門
職からみた精神科病院におけるチーム医療の現状。
北海道医療大学看護福祉学部紀要，16：61-68，
2009.
- 3) 志水 朱，志水 幸：人物から学ぶ社会福祉の歴史
[第5回] 社会福祉における公私関係のあり方を模
索した人々。達人ケアマネ10・11月号。64-65，
2009. 10.
- 4) 志水 朱，志水 幸：人物から学ぶ社会福祉の歴史
[第6回] ポスト福祉国家論をめぐる人々。達人ケ
アマネ12・1月号。56-57。2009. 12.
- 5) 志渡晃一，志水 幸，倉橋昌司，工藤悦子，澤田優
美，三宅隆仁，早川 明，蒲原 龍：本学新入学生
のライフスタイルと健康感に関する研究（第9
報）。北海道医療大学看護福祉学部紀要，16：1-
7。2009. 12.
- 6) 志水 幸，早川 明，山下匡将，宮本雅央，小関久
恵，嘉村 藍，村山くみ，大月和彦：島嶼地域高齢
者の精神的健康の関連要因に関する研究。北海道医

療大学看護福祉学部紀要, 16:15-24. 2009. 12.

- 7) 志水 幸, 山本加奈子, 池森泰裕, 志水 朱, 佐藤園美: 社会福祉系大学新入生の実態と初 年次教育. 北海道医療大学看護福祉学部紀要, 16:25-33. 2009. 12.
 - 8) 福間麻紀, 他: 児童自立支援施設で生活すること, 発達障害が疑われる非行少年の包括的再犯防止対策, 平成20~23年度日本学術振興会科学研究補助金(基盤研究A) 研究報告書1 (研究代表者: 田中康雄), 2009. 3.
- (4) 学会発表
- 1) 近藤里美: 全人的ケアの視点音楽療法士の継続教育を考える~全人的ケアの視点に立つキャリアアップのための音楽療法「実践講座」受講生インタビューのSCATによる質的分析~, 第10回日本音楽療法学会学術大会, 神戸, 2010. 9.
 - 2) 今野多美子: 病院崩壊の危機に直面した看護管理者の心理状態と働き続けている理由, 第40回日本看護学会(看護管理), 大阪市, 2009. 10.
 - 3) 志水 幸: 有島武郎の相互扶助思想(第二報) -農場共有解放・共生農園とアナーキズム. 日本社会福祉学会第57回全国大会. 法政大学, 2009. 10.
 - 4) 古川 奨, 志水 幸: 障害者自立支援法下の小規模作業所の意義. 日本社会福祉学会第57回全国大会. 法政大学, 2009. 10.
 - 5) 早川 明, 山下匡将, 嘉村 藍, 小関久恵, 村山くみ, 古川 奨, 大月和彦, 志水 幸: 離島高齢者のメンタルヘルスに関する研究. 日本社会福祉学会第57回全国大会. 法政大学, 2009. 10.
 - 6) 村山くみ, 山下匡将, 早川 明, 古川 奨, 小関久恵, 大月和彦, 志水 幸: 島嶼地域における地域福祉推進に向けた基礎的研究 - 主観的健康感の関連要因の検討から. 日本社会福祉学会第57回全国大会. 法政大学, 2009. 10.
 - 7) 小関久恵, 山下匡将, 早川 明, 嘉村 藍, 古川 奨, 村山くみ, 大月和彦, 志水 幸: 島嶼地域住民の福祉に関する意識と課題 - 住民を対象としたアンケート調査の結果から. 日本社会福祉学会第57回全国大会. 法政大学, 2009. 10.
 - 8) 早川 明, 小関久恵, 村山くみ, 山下匡将, 嘉村 藍, 宮本雅央, 志水 幸: 島嶼地域高齢者の精神的健康の関連要因についての検討. 第68回日本公衆衛生学会総会. 奈良県民会館, 2009. 10.
 - 9) 山下匡将, 早川 明, 小関久恵, 嘉村 藍, 村山くみ, 志水 幸: 島嶼地域高齢者の地域福祉推進に関する研究 - 生活習慣と社会とのかかわりを中心に.

日本社会福祉学会第57回全国大会. 奈良県民会館. 2009. 10.

- 10) 山下匡将, 伊藤優子, 杉山克己, 志水 幸, 川廷宗之, 武田加代子: 短縮版「ソーシャルワーク専門職制自己評価尺度」開発の試み. 日本ソーシャルワーク学会第27回大会. 明治学院大学. 2010. 7.
- (5) 講演
- 1) 近藤里美: 医療の中の音楽療法. 教育講演, 北海道リハビリテーション学会, 札幌, 2010. 7.
 - 2) 今野多美子: 病気になっても安心! 自宅生活一介護保険制度の上手な利用法 -, 江別立病院健康セミナー in 野幌公民館, 道民カレッジ連携講座, 2009. 12.
 - 2) 今野多美子: 組織分析と経営戦略, 江別市立病院看護部長研修, 講師, 2010. 1.
 - 3) 今野多美子: 組織分析と経営戦略, 江別市立病院副看護部長研修, 講師, 2010. 2.
 - 4) 志水 幸: 社会福祉学専門教育におけるリベラル・アーツもしくは教養教育の意義. 2009年全国社会福祉教育セミナー(第1分科会: 大学への導入をどう進めるか. シンポジスト, 鹿児島国際大学, 2009. 11.
 - 5) 志水 幸: 大学教育学会第32回大会(ラウンドテーブル: 保健医療福祉系大学における教養教育の問題. シンポジスト), 愛媛大学, 2010. 6.
 - 6) 向谷地生良: 地域で生きる. 13回全国宅老所・グループ研究フォーラム in おきなわ沖縄県豊見城市, 2010. 2. 27.
 - 7) 向谷地生良: 「技術以前~当事者の持つ力との連携」第18回山形県作業療法学会, 山形国際交流プラザ, 2010. 5. 22.
- (6) 社会活動
- 1) 今野多美子:
北海道看護協会監事
認定看護管理制度セカンドレベル教育課程, 北海道看護協会, 演習支援者
認定看護管理制度サードレベル教育課程, 市立札幌大学看護学部, 演習支援者
 - 2) 志水 幸:
日本ソーシャルワーク学会. 2009年度役員改選選挙管理委員会委員長
大学教育学会誌編集委員会委員
全国学会誌査読: 日本社会福祉教育学会誌1編(2009年12月), 大学教育学会誌1編(2010年8月), 日本ソーシャルワーク学会誌1編

(2010年9月).

- 3) 志水 朱:
当別町介護認定審査会委員
当別町障害区分認定審査会委員
- 3) 向谷地生良:
北海道精神保健福祉審議会委員
介護保険等不服申し立て審査会委員
北海道地域生活支援センター権利擁護事業審査委員
当別町障害者福祉計画策定委員長
当別町障害者自立支援法審査会員

看護学 科

生命基礎科学講座

教授: 倉橋 昌司, 小林 正伸, 佐々木重幸
西 基

(1) 著 書

- 1) 西 基: 保健師国家試験のためのスキルアップ・ブック2011年度版, 東京, 海馬書房, 2010.

(2) 論 文

- 1) 倉橋昌司: 摂食時の全唾液分泌速度と咀嚼運動および嚥下時食塊水分量の関係, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 6, 57-60, 2010 (, 3).
- 2) Nakajima S, Niizeki H, Tada M, Nakagawa K, Kondo S, Okada F, Kobayashi M: Trichostatin A with adenovirus-mediated p53 gene transfer synergistically induces apoptosis in breast cancer cell line MDA-MB-231, *Oncology Report*, 22, 143-148, 2009.
- 3) Chen J, Kobayashi M, Darmanin S, Qiao Y, Gully C, Zhao R, Yeung SC, Lee MH: Pim-1 plays a pivotal role in hypoxia-induced chemoresistance, *Oncogene*, 28, 2581-92, 2009.
- 4) Chen J, Kobayashi M, Darmanin S, Qiao Y, Gully C, Zhao R, Kondo S, Wang H, Wang H, S-C Yeung S-C and Lee M-H: Hypoxia-Mediated Up-Regulation of Pim-1 Contributes to Solid Tumor Formation, *Am J Pathol*, 175, 400-411, 2009.
- 5) Kunishige Onuma, Yu Sato, Satomi Ogawara, Nobuyuki Shirasawa, Masanobu Kobayashi, Jun Yoshitake, Tetsuhiko Yoshimura, Masaaki Iigo, Jun-ichi Fujii and Futoshi Okada: Nano-Scaled Particles of Titanium Dioxide Convert Benign Mouse Fibrosarcoma

Cells into Aggressive Tumor Cells, *Am J Pathol*, 175, 2171-2183, 2009.

- 6) Kobayashi T, Ishida J, Musashi M, Ota S, Yoshida T, Shimizu Y, Chuma M, Kawakami H, Asaka M, Tanaka J, Imamura M, Kobayashi M, Itoh H, Edamatsu H, Sutherland LC, Brachmann RK: p53 transactivation is involved in the antiproliferative activity of the putative tumor suppressor RBM5, *Int. J Cancer*, 2010 (, Mar, 22), [Epub ahead of print]
- 7) Tsuchiya K, Hida Y, Muraki C, Ohga N, Akino T, Kondo T, Miseki T, Nakagawa K, Shindoh M, Harabayashi T, Shinohara N, Nonomura K, Kobayashi M: Adrenomedullin antagonist suppresses tumor formation in renal cell carcinoma through inhibitory effects on tumor endothelial cells and endothelial progenitor mobilization: *Int J Oncol*, 36, 1379-86, 2010.
- 8) Takashi Kunihara, Kenji Iizuka, Shigeyuki Sasaki, Norihiko Shiiya, Yoshiro Matsui: Optimal proportions of gelatin-resorcin-formalin components in aortic surgery, *European Journal of Cardio-thoracic Surgery*, 36, 962-966, 2009.
- 9) 西 基: 札幌市の放火予報カレンダー作成に対する基礎的分析, フェスク, 336, 13-15, 2009.
- 10) 西 基: ごみステーションへの放火に関する疫学的分析, 近代消防, 47 (11), 70-72, 2009.
- 11) 西 基: 「火炎及び火焰による不慮の事故」死亡の疫学的県別比較, 近代消防, 47 (12), 60-62, 2009.
- 12) 西 基, 三宅浩次: 従業員のうち病罹患が企業に与える経済的損失, 北方産業衛生, 47, 1-4, 2009.
- 13) 三宅浩次, 西 基: ワーク・ライフ・バランスと関連する諸要因, 北方産業衛生, 47, 27-35, 2009.
- 14) Nishi M, Schäfer U: Warum sind die Japaner die ältesten Menschen der Welt? 17. Ernährungsfrage zum Thema Altersassoziierte Erkrankungen—, Prävention durch Ernährung, *Deutsche Gesellschaft für Ernährung*, 90-99, 2009.
- 15) 西 基: 札幌市における水痘・ヘルパンギーナ流行と気温の関係に関する検討, 北海道医療大学看護福祉学部学会雑誌, 6, 61-62, 2010.
- 16) 西 基: 世帯別の「火炎および火焰による不慮の事故」の死亡の比較, 近代消防, 48 (12), 55-57, 2010.
- 17) 花井潤師, 太田優, 田上泰子, 阿倍敦子, 福士勝, 矢野公一, 藤田晃三, 西 基, 長 祐子, 飯

塚 進：札幌市における18か月児の神経芽細胞腫マス・スクリーニング，日マススク誌，20，17-20，2010.

(3) その他の論文

- 1) 志渡晃一，志水 幸，倉橋昌司，工藤悦子，澤田優美，三宅隆仁，早川 明，蒲原 龍：本学新入生におけるライフスタイルと健康感に関する研究（第9報），北海道医療大学看護福祉学部紀要，16，1-7，2009，（，12）.
- 2) 太田 優，田上泰子，高野恵理香，杉野安紀，花井潤師，福士 勝，矢野公一，金田 眞，長 裕子，西 基，飯塚 進：札幌市における神経芽細胞腫スクリーニング結果（2008年度），札幌市衛生研究所年報，36，57-58，2009.

(4) 学会発表

- 1) 倉橋昌司：摂食による満腹感発生に伴う全唾液分泌速度および咀嚼運動変化について，第54回日本唾液腺学会学術大会，2009. 12.
- 2) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki：The Value of NBI endoscope for early head and neck cancers，第18回国際レーザー医学会，東京，2009. 11.
- 3) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki：Narrow Band Imaging and superficial cancer in head and neck—from my experience of more than 200 patients，2010 Annual meeting of Chinese Medical Association, TaiPei, Taiwan, 2010. 6.
- 4) 西 基：鹿追町における健康施策 第3報 医療費の抑制，第56回日本栄養改善学会，札幌市，2009年9月4日.
- 5) 西 基：神経芽腫マス・スクリーニング中止後の副腎の悪性新生物死亡率，第25回日本小児がん学会，千葉市，2009年11月29日.
- 6) 西 基：日本とフランスにおける副腎の悪性新生物死亡の推移，第37回日本マス・スクリーニング学会，横浜市，2010年8月29日.

(5) 講演

- 1) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki：Detection of Superficial Cancer in Head and Neck region, state of art, The 4th International Federation of Head and Neck Oncologic Societies (IFHNOS)

(Lecture Course), Seoul, South Korea, 2010, 6.

- 2) Akihito Watanabe, Masanobu Taniguchi, Hitoshi Tsujie, Masao Hosokawa, Masahiro Fujita, Shigeyuki Sasaki：Management of superficial cancer in head and neck—Recent advances in endoscopic surgery—, 2010 Annual meeting of Chinese Medical Association, Tai Pei, Taiwan, 2010, 6.
- 3) Nishi M：Warum sind die Japaner die ältesten Menschen der Welt? 17. Ernährungsfachtagung zum Thema Altersassozierte Erkrankungen—Prävention durch Ernährung. Deutsche Gesellschaft für Ernährung, Jena, Deutschland, 2009. Nov. 5.
- 4) 西 基：医療経済学，JICA新生児マス・スクリーニングコース，札幌市衛生研究所，2009年12月5日.
- 5) 西 基：社会病理としての放火，放火対策講演会，札幌市消防局，2010年6月18日.

実践基礎看護学講座

教授：花岡眞佐子，平 典子
講師：伊藤 紀子，福良 薫
助教：明野 伸次，石山 景子

(1) 著書

- 1) 平 典子：カルガリー家族アセスメント／介入モデル，看護実践に活かす中範囲理論，野川道子編著，メヂカルフレンド社，40-57，2010，6.
- 2) 福良 薫：ヨシダの振り子理論・中範囲理論，野川道子編著，メヂカルフレンド社，28-138，2010，6.

(2) 論文

- 1) 伊藤祐紀子：看護の場にある「身体」の捉え＝研究の必要性和課題～北海道医療大学看護福祉学部学会誌，6（1），5-13，2010，3.
- 2) 福良 薫：脳卒中患者における身体機能変化に伴う「病い」の体験の意味，日本脳神経看護研究学会誌，第32巻（2），135-143，2010，3.
- 3) 明野伸次：血圧測定技術における学生の行為の特徴—身体性・順序性の観点から—，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，6（1），63-69，2010，3.

(3) その他の論文

- 1) 福良 薫：（アウトカム別フローチャートでわかる今すべき看護援助この時期これをすれば回復が違

う、次の病期がラクになる) 食べる, Brain Nursing 夏季増刊号, 187-211, 2009, 8.

- 2) 福良 薫: 栄養状態のアセスメントと栄養法の選択, Brain Nursing 26巻(9), 923-930, 2010, 9.

(4) 学会発表

- 1) 平 典子, 鳴井ひろみ: 緩和ケアにおけるプレゼンス実践モデルによる介入プログラムの検討, 第24回日本がん看護学会学術集会, 静岡市, 2010. 2
- 2) 伊藤祐紀子: 患者との相互作用に見いだされる看護師の身体のあり様～気がかりをもとに看護行為をしていくプロセスの探究～, 第29回看護科学学会学術集会, 千葉市, 2009. 11.
- 3) 福良 薫: 自己のアイデンティティ再構築に揺れ動いた脳卒中患者の事例報告－Yoshidaの振り子理論を用いた看護介入－, 第4回日本慢性看護学会学術集会, 札幌市, 2010, 6.
- 4) 道中俊成, 松井英俊, 林 裕子, 日高紀久江, 福良 薫, 紙屋克子: 意識障害者に対する口腔ケアについて学生に指導した方法と今後の課題, 第19回日本意識障害学会, 下関市, 2010, 7.
- 5) 久保田直子, 松井英俊, 林 裕子, 日高紀久江, 福良 薫, 紙屋克子: 遷延性意識障害患者の生活の再構築に向けた援助を学生が体験的に学ぶ効果, 第19回日本意識障害学会, 下関市, 2010, 7.
- 6) 福良 薫, 猪股千代子: 看護基礎教育における個人の行動特性克服をねらった安全管理演習の評価レポートの内容分析より－, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪市, 2010, 8.
- 7) 明野伸次: リネンチェンジにおける学生の行為の特徴－身体性・順序性の観点から－, 北海道医療大学看護福祉学部学会第7回学術大会, 札幌市, 2010, 9.

(5) 講演

- 1) 花岡眞佐子: 「北海道医療大学看護福祉学部の教育方針・臨地実習に期待すること」北海道大学病院看護部臨地実習指導者研修, 札幌市, 2010, 4.
- 2) 平 典子: 「質的研究の基礎」, FD研修会, 札幌市, 2010, 6
- 3) 平 典子: 「事例を研究的視点でまとめるとは」, 北海道大学病院看護部3年目研修, 札幌市, 2010, 7
- 4) 伊藤祐紀子: 「看護研究のすすめかた～研究計画書の重要性について」, 釧路労災病院, 釧路市, 2009. 10.
- 5) 福良 薫: 「看護研究会奨学会研究報告: 身体機能障害を抱える脳卒中患者の生活の再構築に向けた

看護介入の検討」, 第36回看護研究会学術集会, 岡山市, 2010, 8.

- 6) 明野伸次: 「血圧測定技術における学生の行為の特徴－身体性・順序性の観点から－」, 北海道看護教育研究会講演, 札幌市, 2010, 4.

(6) 社会活動

- 1) 花岡眞佐子: 日本看護学教育学会, 評議員.
- 2) 花岡眞佐子: 日本看護学教育学会, 専任査読委員.
- 3) 平 典子: 日本看護研究会北海道地方会, 研究奨励賞選考委員.
- 4) 平 典子: 日本看護研究会北海道地方会長.
- 5) 平 典子: 日本看護研究会評議員.
- 6) 平 典子: 日本看護研究会査読員.
- 7) 平 典子: 日本看護科学学会評議員.
- 8) 平 典子: 日本がん看護学会評議員.
- 9) 平 典子: 日本がん看護学会査読員.
- 10) 平 典子: 日本看護科学学会第30回学術集会企画委員.
- 11) 伊藤祐紀子: 平成22年度北海道看護教員養成講習会, 研究方法演習 講師, 2010. 6～8.
- 12) 伊藤祐紀子: 平成22年度北海道看護協会 学会委員会 委員.
- 13) 伊藤祐紀子: M-GTA研究会第1回合同研究会 分析ワークショップ スーパーバイザー. 倉敷市, 2010. 8.
- 14) 伊藤祐紀子: 北海道M-GTA研究会 企画・運営
- 15) 伊藤祐紀子: 釧路労災病院研究指導, 釧路市, 2009. 9～12.
- 16) 伊藤祐紀子: 釧路労災病院研究報告会 講評, 釧路市, 2010. 1.
- 17) 福良 薫: 日本脳神経看護研究会評議員.
- 18) 福良 薫: 「北海道東北地区国立病院機構・国立療養所看護研究会」北海道東北地区研究指導, 札幌市, 2009. 9～12.
- 19) 福良 薫: 静和会グループ看護研究発表会講評, 札幌市, 2010, 3.
- 20) 福良 薫: 静和会グループ看護研究指導, 札幌市, 2010, 8～.
- 21) 明野伸次: 「北海道東北地区国立病院機構・国立療養所看護研究会」北海道東北地区研究指導, 札幌市, 2010. 9～12.
- 22) 明野伸次: 日本看護研究会北海道地方会役員.
- 23) 明野伸次: NPO法人日本コンチネンス協会北海道支部副支部長.

地域保健看護学講座

(老年看護学)

教授：井出 訓, 山田 律子
准教授：萩野 悦子
助教：内ヶ島伸也

(地域看護学)

准教授：工藤 禎子, 桑原 ゆみ
講師：竹生 礼子
助教：明野 聖子, 川添恵理子, 佐藤美由紀

(精神看護学)

准教授：佐久間えりか
講師：笹木 弘美
助教：吉野加寿美, 鈴木 祐子

(老年看護学)

(1) 著書

- 1) 井出 訓：よくわかる高齢者福祉，ミネルヴァ書房，2009（，12）。
- 2) 井出 訓：系統看護学講座専門Ⅱ老年看護学，第7版，医学書院，2010（，1）。
- 3) 山田律子：系統看護学講座専門Ⅱ老年看護学，第7版，医学書院，Pp.29-30, 32-42, 89-91, 93-103, 114-116, 284-285, 290-296, 2010（，1）。
- 4) 山田律子：あったか介護用語事典，照林社，2010（，1）。
- 5) 山田律子（老年看護学領域責任編集）：看護大事典第2版，医学書院，2010（，1）。
- 6) 萩野悦子：第2章高齢社会と社会保障（p30-32, 44-46），第4章高齢者のアセスメント（p92-93, 103-107, 110-114, 116-121），第5章高齢者の生活機能を整える看護の展開（p185-196），系統看護学講座専門Ⅱ老年看護学，第7版第1刷，医学書院，2009（，11）。

(3) その他の論文

- 1) 井出 訓：認知症フレンドシップクラブ，現代のエスプリ，507，2009（，10）。
- 2) 山田律子，山本則子，石垣和子：訪問看護における高齢者の栄養管理質指標の開発と実用性の検討，北海道医療大学看護福祉学部紀要，（16），51-59，2009（，11）。
- 3) 山田律子：摂食・嚥下障害をもつ認知症の人に対する看護の実際，老年精神医学雑誌，20（12），428-

436，2009（，12）。

- 4) 山田律子：認知症高齢者における口腔ケア，高齢者の口腔機能とケアAdvances in Aging and Health Research，財団法人長寿科学振興財団，125-132，2009（，3）。
- 5) 山田律子：認知症をもつ人の食事ケアとは？（連載第1回），おはよう21，21（6），60-63，2010（，5）。
- 6) 山田律子：加齢変化と摂食・嚥下のメカニズム（連載第2回），おはよう21，21（7），54-57，2010（，6）。
- 7) 山田律子：認知症の基礎知識と食事ケアに必要な3つの視点（連載第3回），おはよう21，21（8），54-57，2010（，7）。
- 8) 山田律子：食べ始めることができない人の食事ケア（連載第4回），おはよう21，21（9），54-57，2010（，8）。
- 9) 山田律子：食べ続けることができない人の食事ケア（連載第5回），おはよう21，21（10），54-57，2010（，9）。
- 10) 萩野悦子：学術フロンティア認知症高齢者のトータルケアに関する学際的研究—複雑系に属する認知症高齢者への直接的ケアの開発—平成20-21年度成果報告書（p52, 57, 66-67）

(4) 学会発表

- 1) 井出訓：認知症フレンドシップクラブの取り組み，第10回日本認知症ケア学会シンポジウム，東京，2009（，11）。
- 2) 千葉由美，山田律子，他：胃瘻離脱を導くケアプロトコルの開発，第29回日本看護科学学会学術集会，千葉，2009（，11）。
- 3) Yamada, R., Hagino, E., Uchigashima, S., Ide S.: Development of the Guideline to Maintain Oral Ingestion without Depending on Tube Feeding for the Elderly with Dementia, 25th annual international conference of Alzheimer's Disease International, Greece, 2010（，3）。
- 4) 枝広あや子，平野浩彦，大内ゆかり，渡邊 裕，戸原 玄，千葉由美，山田律子，山根源之：認知症高齢者の食行動に関する実態調査報告第1報—食事関連BPSD調査票の考案，一般社団法人日本老年歯科医学会第21回学術大会，新潟，2010（，6）
- 5) 枝広あや子，平野浩彦，小原由紀，大内ゆかり，大堀嘉子，渡邊 裕，戸原 玄，千葉由美，新谷浩和，高田 靖，細野 純，佐々木 健，那須郁夫，山田律子，山根源之，鈴木隆雄：認知症高齢者の食行動に関する実態調査報告第2報—認知症の原因疾

- 患および重症度の視点から、一般社団法人日本老年歯科医学会第21回学術大会，新潟，2010（，6）。
- 6) 新谷浩和，平野浩彦，鈴木 央，山田律子，細野純，大堀嘉子，竹内嘉伸，枝広あや子，渡邊 裕，勝田優一，倉治 隆：認知症高齢者の地域ケア～食事ケアでの歯科支援システムの提案，一般社団法人日本老年歯科医学会第21回学術大会，新潟，2010（，6）
- 7) 山田律子，平野浩彦，枝広あや子，千葉由美，戸原玄，佐々木 健，新谷浩和，細野 純，大堀嘉子，渡邊 裕：認知症高齢者の食行動の特徴～認知症の重症および認知症の原因疾患別の分析，第16回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会，新潟，2010（，9）
- 8) 千葉由美，市村久美子，戸原 玄，石田 瞭，植松宏，山田律子，植田耕一郎，唐帆健浩，加治一毅：病院における摂食・嚥下システム開発に関する基礎調査（報告1）～スタッフ配置と摂食・嚥下関連組織の設置状況，第16回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会，新潟，2010（，9）
- 9) Hagino, E., Nakagawa, Y., Nishi, M.: Review on Literature Concerning Changes in the Daily Life Related to the Improvement of Sleep Conditions of the Elderly, 国際アルツハイマー病協会第25回国際会議，ギリシャ，2010（，3）。
- (5) 講演
- 1) 井出 訓：北海道看護協会研修会「認知症のケア」，札幌，2010（，5）。
- 2) 井出 訓：北海道看護協会南空知支部研修会「認知症の人の看護」，岩見沢，2010（，8）。
- 3) 井出訓：旭川愛善会研修会「認知症の人が安心して暮らせるまち作りをめざして」，旭川，2010（，9）。
- 4) 井出訓：むかわ町介護予防講習会「認知症の人が安心して暮らせるために」，むかわ，2010（，9）。
- 5) 山田律子：「生活機能に視点を置いた看護過程の展開」，北海道訪問看護ステーション連絡協議会，札幌，2009（，10）。
- 6) 山田律子：市民公開講座「食べるよろこび生きるよろこび～認知症と食支援」，北海道歯科医師会，札幌，2009（，11）。
- 7) 山田律子：基調講演「認知症の食事ケア～食べることを支えるための地域支援」，平成21年度健康フォーラム，東京都大田区大森歯科医師会，東京，2009（，12）。
- 8) 山田律子：一般公開シンポジウム「脳機能と認知症治療・ケアの最前線：認知症の人の食べる喜びを支えるために～脳機能をふまえた食事ケア」，文部科学省学術フロンティア推進事業，札幌，2010（，2）。
- 9) 山田律子：基調講演「おいしく食事をしていただくために～摂食困難のある認知症患者へのアプローチ～」，認知症患者への歯科医療・口腔ケアセミナー，北海道歯科医師会，札幌，2010（，2）。
- 10) 山田律子：基調講演1「認知症看護実践活動と研究」，基調講演2「事例研究の進め方」，平成21年度認知症看護認定看護師のためのフォローアップ研修，東京，2010（，3）。
- 11) 山田律子：公開講座「認知症の症状に応じた食事ケアの工夫」，中堅介護職のための総合的・専門的・継続的研修「熟練者指向のキャリアアップ～職場に活かす食のアプローチ」，東京，2010（，2）。
- 12) 山田律子：公開講座「摂食困難のある認知症患者へのアプローチ」，食・口腔・嚥下ケア専門スタッフ養成コース，十勝歯科医師会，帯広，2010（，5）。
- 13) 山田律子：公開講座「認知症の人の食べるよろこび」，上川地区研修会，旭川，2010（，7）。
- 14) 山田律子：公開講座「認知症の方の食事への配慮」，東京都深川歯科医師会主催多職種研修会，東京，2010（，7）。
- 15) 山田律子：「認知症高齢者の摂食・嚥下障害と援助方法」，千歳市複数連携事業主催，千歳，2010（，8）。
- 16) 山田律子：日本老年看護学会ワークショップ「食事機能の再獲得：経管栄養から経口へ」(生活機能再獲得のためのケアプロトコル実践編)，東京，2010（，8）。
- 17) 山田律子：公開講座「認知症患者の食事への関わり」，江別市立病院主催研修会，江別，2010（，9）。
- 18) 山田律子：「認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴と食事支援」，恵庭市グループホームネットワークの会主催，恵庭，2010（，9）。
- 19) 萩野悦子：恵庭市障害老人と共に歩む会，「高齢者の眠りの支援」講師，恵庭，2010（，4）。
- (6) 社会活動
- 1) 井出 訓：NPO法人認知症フレンドシップクラブ 理事長。
- 2) 井出 訓：一般社団法人北海道グループホーム協会 理事。
- 3) 山田律子：一般社団法人日本看護研究学会 理事，査読委員，北海道地方会役員。
- 4) 山田律子：日本老年看護学会評議員，査読委員，研

- 究・教育活動推進委員，日本老年看護学会第14回学術集会事務局長。
- 5) 山田律子：日本認知症ケア学会評議員，編集委員。
 - 6) 山田律子：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会評議員，査読委員。
 - 7) 山田律子：保健師助産師看護師試験委員。
 - 8) 山田律子：認定看護師認定実行委員（認知症看護分野）委員長。
 - 9) 山田律子：認知症看護認定看護師教育カリキュラム検討委員会 委員長。
 - 10) 山田律子：医療法人溪仁会西円山病院看護部研修「看護研究の進め方」講師とフォローアップ研究面談，札幌，2010（，7～）。
 - 11) 山田律子：日本看護協会看護研修学校 認知症看護認定看護師講師，東京，2010（，8）。
 - 12) 山田律子：兵庫県看護協会認定看護師教育課程 認知症看護コース講師，神戸，2010（，8）。
 - 13) 萩野悦子：平成22年度看護教員養成講習会，「研究方法」講師，札幌，2010（，6）。
 - 14) 萩野悦子：医療法人溪仁会札幌西円山病院院内認定看護師教育研修「認知症に関わる保健・医療・福祉制度」講師，札幌，2010（，7）。
 - 15) 萩野悦子：医療法人溪仁会札幌西円山病院院内認定看護師教育研修「睡眠・覚醒リズムのアセスメントとケア」講師，札幌，2010（，8）。
 - 16) 内ヶ島伸也：NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事
 - 17) 内ヶ島伸也：札幌市月寒公民館 創造学園「認知症を知ろう・考えよう」講師，札幌，2009（，10）。
 - 18) 内ヶ島伸也：平成22年度第1回認知症介護指導者養成研修「地域連携の理解（シンポジウム）」講師，認知症介護研究・研修仙台センター主催，仙台，2010（，5）。
 - 19) 内ヶ島伸也：医療法人恵佑会札幌病院看護部研修「看護研究のはじめ方」講師，札幌，2010（，8）。
 - 20) 内ヶ島伸也：平成22年度 滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川，2008（，8-9）。
 - 21) 内ヶ島伸也：平成22年度第2回認知症介護指導者養成研修「地域連携の理解（シンポジウム）」講師，認知症介護研究・研修仙台センター主催，仙台，2010（，9）。

（地域看護学）

（1）著書

- 1) 工藤禎子：寝たきり老人ゼロ作戦，p2277，障害老人の日常生活自立度判定基準，p1423：和田 功・南 裕子・小峰光博編著：看護大辞典第2版，医学

書院，2009。

- 2) 工藤禎子：介護予防と地域づくり，p310～314，介護家族への看護，p332～342，北川公子編著「老年看護学」，医学書院，2009。
- 3) 工藤禎子：新出題形式対応保健師国家試験問題模擬試験，解答と解説（「高齢者保健」部分），p571～609，2011年版保健師国家試験問題解答と解説，医学書院，2010。
- 4) 桑原ゆみ：保健信念モデル，p249～264，エンパワーメント，p300～310，323～324：野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論，メヂカルフレンド社，2010。

（2）論文

- 1) 若山好美，工藤禎子，竹生礼子，佐藤美由紀：認知症キャラバンメイトの活動志向性とその関連要因，日本在宅ケア学会誌，13（2），34-41，2010。
- 2) 竹生礼子・工藤禎子・若山好美：地域における認知症の啓発活動をになうボランティアの活動内容と活動意向，日本在宅ケア学会誌，13（2），67-76，2010。

（3）その他の論文

- 1) 桑原ゆみ：個別的運動・栄養プログラム参加者における運動継続の期間と理由，北海道医療大学看護福祉学部紀要，16，83-89，2009。
- 2) 平 紀子，宮崎正三，唯野貢司，豊田栄子，二瓶裕之，塚本容子，桑原ゆみ，四釜禎央，照本真澄：地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラム—2009年度事業終了報告—，北海道医療大学大学教育開発センター報告，2，p111～124，2010。
- 3) 佐藤美由紀：地域高齢者における介護認定状況別家庭内役割の検討—要支援・要介護者に焦点を当てて—，北海道医療大学看護福祉学部紀要，16，91-97，2009。

（4）学会発表

- 1) 西村歌織・川村三希子・竹生礼子・渡辺由美・平典子：外来通院中の食道がん術後患者が認識する生活への影響。第24回日本がん看護学会学術集会，講演集p249，2010年2月，静岡
- 2) 佐藤美由紀・工藤禎子・竹生礼子・明野聖子・川添恵理子：農村高齢者の抑うつ状態と関連要因，—社会心理的要因を中心に—，日本地域看護学会第13回学術集会，講演集p109，2010年7月，札幌市
- 3) 工藤禎子・竹生礼子・若山好美・佐藤美由紀・明野

- 聖子・桑原ゆみ・川添恵理子：認知症キャラバンメイト登録者が活動について感じていること，－第1報活動組織なし・未活動非専門職の視点，日本地域看護学会第13回学術集会，講演集p167，2010年7月，札幌市
- 4) 竹生礼子・工藤禎子・若山好美・佐藤美由紀・明野聖子・桑原ゆみ・川添恵理子：認知症キャラバンメイト登録者が活動について感じていること，－第2報 活動組織なし・未活動専門職の視点，日本地域看護学会第13回学術集会，講演集p168，2010年7月，札幌市
- (5) 講演
- 1) 桑原ゆみ：高齢者のQOL向上に向けたポピュレーションアプローチ推進検討事業報告会「これからの生活習慣病対策について～ポピュレーションアプローチ実態調査から～」講師，2010，3，8，札幌市
- 2) 桑原ゆみ：苫小牧保健所管内中堅期保健師研修会「地域をみつめる1～保健事業における情報の整理と課題抽出」「地域をみつめる2～地域診断と保健活動」講師，2010，8，30，胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室
- 3) 桑原ゆみ：オホーツクブロック行政栄養士研修会「地域の健康づくりを促進する効果的な生活習慣病対策～ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの統合」講師，2010，9，13，北海道オホーツク合同庁舎
- 4) 桑原ゆみ：道南ブロック保健所保健師研修会「なぜ評価を行うのか～評価を行う理由と評価のポイント～」講師，2010，9，16，渡島合同庁舎
- 5) 竹生礼子：北海道保健福祉部主催，平成21年度北海道看護教員養成講習会特別講義「在宅看護の実践から看護基礎教育への期待」講師，2009. 12. 3，北海道看護研修会館
- 6) 竹生礼子：(社)北海道総合在宅ケア事業団主催，在宅看護論実習指導者研修会「現代の看護学生の傾向と在宅看護論実習において訪問看護ステーションに期待すること」講師，2009. 10. 29，道民活動センターかでの2・7
- 7) 竹生礼子：北海道保健福祉部主催，平成22年度北海道看護教員養成講習会特別講義「在宅看護の実践から看護基礎教育への期待」講師，2010. 8. 19，北海道看護研修会館
- 8) 竹生礼子：(社)北海道総合在宅ケア事業団訪問看護部ブロック研修会「訪問看護師としての倫理観」講師，2010. 9. 11，北海道医療大学札幌サテライト
- キャンパス.
- (6) 社会活動
- 1) 工藤禎子・竹生礼子・若山好美・川添恵理子：認知症キャラバンメイトの活動と意向，及びその関連要因，文部科学省学術研究高度化推進事業学術フロンティア推進事業，平成20～21年度研究成果報告書，「認知症高齢者のトータルケアに関する学際的研究，複雑系に属する認知症高齢者への直接的ケアの開発（研究代表者 阿保順子）」，北海道医療大学大学院看護福祉学研究科，p62～63，2010年3月.
- 2) 工藤禎子：現代GP「双方向型医療コミュニケーション教育の展開」委員，「メディカルカフェをつくる」参加，シンポジウム司会「医療コミュニケーションの多様性」：2010年2月20日，札幌全日空ホテル.
- 3) 工藤禎子：日本地域看護学会，第13回学術集会企画委員，編集委員
- 4) 桑原ゆみ：平成22年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，2010，8－9，滝川市
- 5) 桑原ゆみ：当別町国民健康保険運営協議会副会長，当別町
- 6) 桑原ゆみ：とうべつ健康プラン21改訂版策定委員会委員，2009，3，～2010，3，31，当別町
- 7) 桑原ゆみ：当別健康プラン21検討委員会委員，2010，8，1，～現在，当別町
- 8) 桑原ゆみ：当別町国保保健指導事業連絡会委員，当別町
- 9) 桑原ゆみ：高齢者のQOL向上に向けたポピュレーションアプローチ推進検討事業検討委員会委員，2009，9，1，～2010，3，30，北海道
- 10) 桑原ゆみ：調査をとおして，p31～32：北海道保健福祉部保健医療局健康安全室編：平成21年度老人保健健康増進等事業「高齢者のQOL向上に向けたポピュレーションアプローチ推進検討事業」報告書，2010.
- 11) 桑原ゆみ：日本糖尿病教育・看護学会専任査読者
- 12) 桑原ゆみ：第14回日本糖尿病教育・看護学会学術集会企画委員
- 13) 桑原ゆみ：第13回日本地域看護学会学術集会実行委員
- 14) 桑原ゆみ：第4回日本慢性看護学会学術集会実行委員
- 15) 桑原ゆみ：文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラムプロジェクトコアメンバー

- 16) 桑原ゆみ：田隈泰信，平紀子編集，平成21年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム委託業務「地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラム」成果報告書，2010.
- 17) 竹生礼子：北海道医療大学「生涯学習事業」北海道医療大学セミナー「ちょっと役立つ看護の知恵」第4回「在宅での看取りのために」講師，2009. 11. 21，北海道医療大学札幌サテライトキャンパス
- 18) 竹生礼子：第13回日本地域看護学会学術集会実行委員
- 19) 竹生礼子：当別町共生型事業外部検討委員会委員，2009. 3～現在，当別町
- 20) 竹生礼子：第14回日本看護サミット北海道'09運営委員会運営委員，～2009. 10
- 21) 竹生礼子：当別町地域包括支援センター運営協議会委員長，2009. 4～現在，当別町
- 22) 竹生礼子：当別町地域ケア会議介護予防専門部会メンバー
- 23) 竹生礼子：当別町ケアマネジャー連絡協議会メンバー
- 24) 竹生礼子：札幌ホスピス・緩和ケアネットワーク，幹事
- 25) 竹生礼子：北海道緩和ケアに携わるナースのサポートネットワーク世話人
- 26) 明野聖子：第13回日本地域看護学会学術集会実行委員
- 27) 川添理恵子：第13回日本地域看護学会学術集会実行委員
- 28) 佐藤美由紀：8020運動推進特別事業検討評価委員，2010. 9～現在，北海道
- 29) 佐藤美由紀：北海道公衆衛生学会評議員，2008. 12～現在
- 30) 佐藤美由紀：北海道ヘルスプロモーションネットワーク事務局，2007. 4～現在
- 31) 佐藤美由紀：第13回日本地域看護学会学術集会実行委員

(精神看護学)

(2) 論文

- 1) 吉野賀寿美，八木こずえ：地域生活に移行した統合失調症患者の生活体験－初発者と再発者の比較を通して－，日本看護科学会誌，30(2)，54－63，2010.

(4) 学会発表

- 1) 吉野賀寿美：The development and discussion of nursing intervention programme for schizophrenic outpa-

tients who have relapsed, Nordic conference of mental health nursing, Finland, 2010(, 9)

(5) 講演

- 1) 佐久間えりか：千歳市民病院 看護部主催講「看護研究の進め方」講師，2010(4)
- 2) 佐久間えりか：千歳市民病院看護部主催講演「看護研究のまとめ方」講師，2010(9)
- 3) 吉野賀寿美：滝川市立病院，看護部主催講演，「事例研究のまとめかた」講師，2010(7)

(6) 社会活動

- 1) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会 評議委員，査読委員
- 2) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会 「学術連携委員会」委員，「高度プロトコール委員会」委員
- 3) 佐久間えりか：平成21年度北海道介護予防市町村支援委員会 専門部会 委員
- 4) 佐久間えりか：第18回日本精神障害者リハビリテーション学会運営委員
- 5) 佐久間えりか：日本地域看護学会第13回学術大会実行委員
- 6) 佐久間えりか：精神保健従事者団体懇談会監事
- 7) 佐久間えりか：北海道医療大学看護福祉学会理事
- 8) 佐久間えりか：NPO法人こころ理事長
- 9) 佐久間えりか：独立行政法人国立病院機構 北海道看護研究学会 研究指導，
- 10) 佐久間えりか，笹木弘美，吉野賀寿美：市立札幌静療院看護部研究指導，2010.
- 11) 佐久間えりか，笹木弘美，吉野賀寿美：千歳市民病院看護部看護部研究指導，2010.
- 12) 笹木弘美：北海道看護教員養成講習会 研究方法演習 講師，2010. 6～8
- 13) 笹木弘美：看護研究学会 論文指導，2010
- 14) 吉野賀寿美：NPO法人こころ理事兼相談員

母子看護学講座

教授：三国 久美
 准教授：伊藤 道子
 講師：遠藤紀美恵，木浪智佳子
 助教：澤田 優美，井関ゆかり

(2) 論文

- 1) 澤田優美：女子大学生の親和性及び女子大学生がもつ母親イメージ，育児観－母親の就労状況による比

較一，北海道医療大学看護福祉学研究科修士論文，2010.

(3) その他の論文

- 1) 志渡晃一，志水 幸，倉橋昌司，工藤悦子，澤田優美，三宅隆仁，早川 明，蒲原 龍：本学新入生のライフスタイルと健康感に関する研究（第9報），北海道医療大学看護福祉学部紀要，16，1-7，2009年，12月.
- 2) 工藤悦子，澤田優美，志渡晃一：新入学生の抑うつ傾向とその関連要因，北海道公衆衛生学雑誌第23巻第2号，155-159，2010年，3月.
- 3) 岩城依子，井関ゆかり：Special Lecture 1 子どもの痛み・不安を軽減！先進事例で学ぶディストラクションの実践 処置時（マルク・ルンバール），子どもケア，vol. 5，No. 3，21-29，2010年，8月.

(4) 学会発表

- 1) 菅野祐子，亀井聡子，島田智子，下山友子，鈴木亜紗子，三浦美恵子，伊藤道子：看護者の意識統一による産婦の満足度変化—ドゥーラの役割を応用した援助—，平成21年度北海道看護協会北空知支部看護研究会，2009年，10月，砂川市.
- 2) 澤田優美，工藤悦子：看護学生の親和性—小学校入学前の集団保育開始年齢と保育場所による比較—，乳幼児保健学会第3回学術集会，2009年，10月，広島.
- 3) Sawada Y., Mikuni K., Kudo E., Saito I.: Female university students' perception of their mothers. "Comparison with condition of mothers' employment", The 3rd International Conference on Occupational Health Nursing & The 2nd Asia Conference on Occupational Health Nursing, Yokohama, 2010, 8.
- 4) 平松真由美，白川園子，寺本妙子，廣瀬たい子，岡光基子，高橋 泉，三国久美，山崎道子，鈴木香代子：子育て支援研究における一事例の縦断的検討，乳幼児保健学会第3回学術集会，2009年，10月.
- 5) 高橋 泉，平松真由美，白川園子，岡林優喜子，寺本妙子，廣瀬たい子，岡光基子，幸本敬子，富田直子，永吉美智枝，三国久美他：7歳時点の子どもの発達と母親の精神的健康の関連，乳幼児保健学会第3回学術集会，2009年，10月.
- 6) Miho Kusanagi, Taiko Hirose, Kumi Mikuni: An intervention study using state modulation and reading baby's cues for preterm / low-birth-weight infants and their mothers in Japan, The 12th World Congress of the World Association for Infant Mental Health, June 2010,

Leipzig, Germany.

(6) 社会活動

- 1) 伊藤道子：北海道母性衛生学会幹事総務
- 2) 遠藤紀美恵：模擬講義，学校法人創研学園看予備，特別講義講師，2010年，7月.
- 3) 遠藤紀美恵：北海道看護教育研究会 会長.
- 4) 三国久美，遠藤紀美恵：平成22年度江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師
- 5) 三国久美，木浪智佳子：平成21・22年度北海道社会保険病院「看護係長研修」講師
- 6) 三国久美：「お母さんと赤ちゃんの気持ち，わかりますか？」道民カレッジ講師，奈井江町，2010年，2月.

成人看護学講座

教授：野川 道子

准教授：館山 光子，佐々木栄子

講師：唐津 ふさ，西村 歌織

助教：雉子谷知子，二本柳玲子，高木由希

(1) 著 書

- 1) 野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論，メヂカルフレンド社，1-382，2010，6.
- 2) 佐々木栄子：第II章8-G. モースの病気体験の理論臨床での活用の実際，看護実践に活かす中範囲理論（野川道子編著），メヂカルフレンド社，150-159. 2010，6.
- 3) 館山光子：第II章10. 危機理論，看護実践に活かす中範囲理論（野川道子編著），メヂカルフレンド社，185-205，2010，6.
- 4) 唐津ふさ：第II章1. セルフケア不足理論，看護実践に活かす中範囲理論（野川道子編著），メヂカルフレンド社，14-24，39，2010.
- 5) 西村歌織：第II章12-H 病気の不確かさ理論 臨床での活用の実際 その2，看護実践に活かす中範囲理論（野川道子編著），メヂカルフレンド社，240-248，2010，6.
- 6) 雉子谷知子：第II章11 ストレス・コーピング理論，看護実践に活かす中範囲理論（野川道子編著），メヂカルフレンド社，206-222，2010，6.
- 7) 二本柳玲子：第II章4-A~F・H 協働的パートナーシップ理論，看護実践に活かす中範囲理論（野川道子編著），メヂカルフレンド社，72-83・89，2010，6.

- 8) 高木由希：第Ⅱ章1-G. セルフケア不足理論 臨床での活用の実際 その1, 看護実践に活かす中範囲理論(野川道子編著), メヂカルフレンド社, 24-30, 2010, 6.
- (2) 論文
- 1) 高木由希：血液透析患者の病気の不確かさの認知に関連する要因, 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科修士論文, 2010, 3.
- (3) その他論文
- 1) 草間朋子, 湯沢八江, 山西文子, 野川道子：日本のナースプラクティショナー教育の現状と課題, 看護学雑誌, 74(6), 18-22, 2010, 7.
- 2) 後藤清恵, 佐々木栄子：在宅パーキンソン病患者と主介護者の主観的QOLの変化 -SEIQoL-DW法におけるALSとの比較-, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服事業)分担研究報告書, 92-99, 2010, 3.
- 3) 二井矢ひとみ, 佐々木栄子, 野川道子：中範囲理論の看護実践での活用⑩ソーシャル・サポートの看護実践への活用, 看護技術55(13), 82-86, メヂカルフレンド社, 2009, 11.
- 4) 雉子谷知子, 館山光子, 野川道子：「ラザルスのストレス・コーピング理論」の看護実践への活用, 看護技術, 55(11), 82-87, 2009, 10.
- 5) 鹿内あずさ, 二本柳玲子, 野川道子：中範囲理論の看護実践での活用⑫「協働的パートナーシップ」の看護実践への活用, 看護技術, 55(14), 74-79, 2009, 12.
- (4) 学会発表
- 1) 唐津ふさ：筋萎縮性側索硬化症患者の病いとともに生きる体験～折り合いに焦点をあてて～, 第4回日本慢性看護学会学術集会, 2010, 8(札幌)
- 2) 後藤清恵, 佐々木栄子：在宅パーキンソン病患者と主介護者の主観的QOLの変化 -SEIQoL-DW法におけるALSとの比較-, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服事業)分担研究報告会, 2009, 12.
- 3) 佐々木栄子, 雉子谷知子：支援プログラム参加によるパーキンソン病患者の主観的QOLの変化 -SEIQoL-DW法を用いた検討-, 北海道医療大学看護福祉学部学会第7回学術大会, 札幌, 2010, 9.
- 4) 西村歌織, 川村三希子, 竹生礼子, 渡辺由美, 平典子：外来通院中の食道がん術後患者が認識する生活への影響, 第24回日本がん看護学会学術集会, 2010, 2.
- 5) 高木由希, 野川道子：血液透析患者の認知する病気の不確かさの特徴, 第4回日本慢性看護学会学術集会, 2010, 6.
- (5) 講演
- 1) 野川道子 特別講演「臨床で役立つ看護理論－ミシエルの病気の不確かさ理論」滋賀県立大学人間看護学部附属地域交流看護実践研究センター 2009, 10.
- 2) 野川道子「臨床で役立つ看護理論－ミシエルの病気の不確かさ理論」江別市立病院 2010, 1.
- 3) 佐々木栄子：「パーキンソン病患者の肯定的自己概念を拡張する支援プログラム」, 第4回日本慢性看護学会学術集会シンポジウムⅡ「未来をつむぐ患者・家族支援プログラム」シンポジスト, 札幌, 2010, 8.
- (6) 社会活動
- 1) 野川道子：日本私立系看護大学協議会 理事
- 2) 野川道子：日本難病看護学会 理事 査読委員
- 3) 野川道子：日本慢性看護学会 理事
- 4) 野川道子：日本看護科学学会 評議員 和文誌編集委員
- 5) 野川道子：日本看護協会 専門看護師認定委員会委員
- 6) 野川道子：日本看護系大学協会 専門看護師教育課程認定委員
- 7) 野川道子：日本看護研究学会 評議委員
- 8) 野川道子：北海道福祉審議会委員
- 9) 野川道子：札幌医科大学地域医療支援対策委員
- 10) 佐々木栄子：医療法人社団明生会手稲ロイヤル病院「看護研究」講師・指導, 2010, 4～9.
- 11) 佐々木栄子：第4回日本慢性看護学会学術集会企画委員
- 12) 館山光子：北海道看護協会 学会委員
- 13) 館山光子：北海道看護研究学会 抄録選考・実行委員
- 14) 館山光子：第4回日本慢性看護学会学術集会企画委員
- 15) 館山光子：日本救急看護学会 機関誌専任査読委員
- 16) 館山光子：手稲溪仁会病院 看護研究指導
- 17) 館山光子：北海道看護研究学会 研究論文指導
- 18) 館山光子：北海道看護協会研修会「臨床で取り組む看護研究研修会－日頃の疑問を研究に結びつけよう」, 函館市・釧路市, 2010, 5.
- 19) 館山光子：札幌ひばりヶ丘病院「看護研究研修

会」, 2010, 8.

- 20) 唐津ふさ：平成21年度 北海道中央病院せき損センター 看護部研修「看護を語る会」講師, 2009年10月～3回
- 21) 唐津ふさ：平成21年度 北海道中央病院せき損センター 看護部研修「看護過程」講師, 2010年1月～3回
- 22) 唐津ふさ：平成22年度 北海道中央病院せき損センター 看護部研修「看護研究」講師, 2010年8月
- 23) 唐津ふさ：平成22年度 北海道中央病院せき損センター 看護部研修「看護過程」講師, 2010年8月～3回
- 24) 唐津ふさ：平成22年度 手稲溪仁会病院 看護部研修「看護研究」講師, 2010年7月25) 唐津ふさ：北海道主催 平成22年度看護教員養成講習会「看護理論」講師, 2010年8月(2回)
- 25) 唐津ふさ：北海道主催 平成22年度保健師助産師看護師等実習指導者講習会「看護教育課程(成人看護学)」講師, 2010年8月
- 26) 唐津ふさ：第4回日本慢性看護学会学術集会企画委員
- 27) 西村歌織：がん啓発チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ 2010 in いしかり」(財団法人がん協会, 実行委員会共催), 実行委員・事務局担当.
- 28) 西村歌織：NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」企画・運営.
- 29) 西村歌織：北海道医療大学 恵佑会札幌病院寄附講座「がんを持つ人の生活支援プロジェクト」講座員.
- 30) 西村歌織：平成22年度北海道看護研究学会 研究指導.
- 31) 西村歌織：第4回日本慢性看護学会学術集会企画委員
- 32) 二本柳玲子：メディカル・ダンスムーブメント・セラピー勉強会 幹事, 2009, 9～.
- 33) 二本柳玲子：第4回日本慢性看護学会学術集会実行委員
- 34) 雉子谷知子：第4回日本慢性看護学会学術集会実行委員
- 35) 雉子谷知子：平成22年度北海道看護研究学会 座長, 札幌市, 2010, 5.
- 36) 高木由希：第4回日本慢性看護学会学術集会実行委員

臨床看護学講座

教授：川村三希子, 塚本 容子

講師：高橋 久江, 長谷 佳子, 草島 悦子

助教：北村美奈子

(1) 著書

- 1) 川村三希子：第Ⅱ章看護実践への活用, 19. Good death, 野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論, メヂカルフレンド社, Pp360-376, 2010.
- 2) 川村三希子：第3章. ご家族の心を癒すエンゼルケア, 角田直枝編集：癒しのエンゼルケア, 中央法規出版, Pp75-110, 2010.
- 3) 川村三希子, 池永昌之編集：症状マネジメント～疼痛以外の患者の訴えに看護師ができること～, がん看護, 15(3), 南江堂. 2010.
- 4) 塚本容子：第Ⅱ章看護実践への活用, 18. 健康関連スティグマ理論, 野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論, メヂカルフレンド社, Pp343-359, 2010.
- 5) 塚本容子編集：看護技術10月増刊号, 最新! 感染看護Q&A, メヂカルフレンド社, 2010.
- 6) 長谷佳子：第Ⅱ章看護実践への活用, 6-G病みの軌跡モデル臨床での活用の実際-その1, 野川道子編著：看護実践に活かす中範囲理論, メヂカルフレンド社, Pp114-119, 2010.

(2) 論文

- 1) 川村三希子, 小島悦子：積極的治療が望めなくなった時期を想定した場合のがん体験者の情報ニーズの検討, 日本がん看護学会誌, 23(3), 42-51, 2009.

(3) その他の論文

- 1) 川村三希子：息が苦しくて動けないのです～呼吸困難, 川村三希子, 池永昌之編集：症状マネジメント～疼痛以外の患者の訴えに看護師ができること～, がん看護, 15(3), 329-333, 2010.
- 2) 塚本容子：WHO手指衛生ガイドライン, 感染対策ICTジャーナル, 5(2), 228-235, 2010.
- 3) 塚本容子：チームで理解する感染症診療目からウロコの抗菌薬適正使用10遺伝薬理学と薬理ゲノム学の感染症治療への応用, Infection Control, 19(9), 914-917, 2010.
- 4) 塚本容子：看護の現場はどう変わる? NPの現在と将来, ナースマネジャー, 18(5), 2010.

- 5) 草島悦子：症状マネジメント疼痛以外の患者の訴えに看護師ができること不安で不安で落ち着かない気分なんです進行がん患者の不安に対するケア，がん看護，15（3），339-341，2010.
- (4) 学会発表
- 1) 西村歌織，川村三希子，竹生礼子，平典子：外来通院中の食道がん術後患者が認識する生活への影響，第24回がん看護学会，静岡，2010（，2）.
 - 2) 斎藤道子，及川明子，秩父千春，塚本容子：学生への効果的な標準予防策の教育の検討，第25回環境感染学会，東京，2010（，2）.
 - 3) Yoko Tsukamoto & Masami Haseyama：Process surveillance in ICU to increase adherence of staffs' infection prevention behavior, Fifth Decennial International Conference on Healthcare-Associated Infections, 5th Decennial Healthcare associated infection, Atlanta, 2010（，3）.
 - 4) Yukari Matsuzawa & Yoko Tsukamoto：Hospital Emergency Preparedness on Infectious Diseases in Japan, APIC annual conference, 2010（，7）.
 - 5) 長谷佳子，鹿内あずさ，照井レナ，竹生礼子，高山望：看護職の倫理的感受性を高める事例検討会の取り組み第一報，日本看護倫理学会第3回年次大会，札幌，2010（，6）.
 - 6) 那須典政，中安隆志，長谷佳子，鹿内あずさ，照井レナ，竹生礼子，東谷敬介：看護職の倫理的感受性を高める事例検討会の取り組み第二報，日本看護倫理学会第3回年次大会，札幌，2010（，6）.
 - 7) 長谷佳子：インターフェロン治療を受けるウイルス性肝炎患者の外来療養支援一病気の不確かさに着目して一，北海道医療大学看護福祉学部学会第7回学術大会，札幌，2010（，9）.
- (5) 講演
- 1) 川村三希子：「在宅ホスピスケア」胆振ブロック研修会 苫小牧，2009（，10）.
 - 2) 川村三希子：がん治療と緩和ケアの融合を目指して～がん患者が自分らしく生き抜くことを支える～. がんプロフェッショナル養成プラン，帯広，2009（，11）.
 - 3) 川村三希子：がん患者の呼吸困難の治療とケア～患者を苦痛から解放するその先にあるもの／看護師が成すべきこと～，北海道がんセンター，2010（，2）.
 - 4) 川村三希子：音楽療法基礎講座，がんと共に歩む人の理解，2010（，2）.
 - 5) 川村三希子：緩和医療における看護師のスペシャリスト教育 その現状と課題，第15回日本緩和医療学会パネリスト，東京，2010（，6）.
 - 6) 川村三希子：がんを持つ人の暮らしを支える医療とは～援助し援助される関係から支え合う関係へ～ 鹿児島医療センター，2010（，9）.
 - 7) 川村三希子：緩和医療における看護師の卒後教育プログラム～看護の専門教育から15年経過した今～第4回 日本緩和医療薬学会シンポジスト，鹿児島，2010（，9）.
 - 8) 塚本容子：パンデミックインフルエンザへの対応，遠軽厚生病院，2009（，10）.
 - 9) 塚本容子：医療関連感染とその発生状況，学びなおしGP，2009（，10）.
 - 10) 塚本容子：感染症，リスクコミュニケーション演習 学びなおしGP，2009（，11）.
 - 11) 塚本容子：パンデミック対策に見る日米の感染対策比較，前橋赤十字病院，2009（，11）.
 - 12) 塚本容子：手術部位感染予防，北海道医療大学歯学部同門会，2010（，1）.
 - 13) 塚本容子：手術部位感染予防～バンドルアプローチを用いて，釧路市立病院，2010（，2）.
 - 14) 塚本容子：手術部位感染予防～バンドルアプローチを用いて，旭川感染管理研究会，2010（，4）.
 - 15) 塚本容子：高度実践看護師の展望，ランチオンセミナー，第4回日本慢性看護学会学術集会，2010（，6）.
 - 16) 塚本容子：ナースプラクティショナーの取り組みは看護を変えるのか，駿台予備校，2010（，7）.
 - 17) 塚本容子：輸液療法ーデバイスの選択に焦点を当てて，市立札幌病院，2010（，7）.
 - 18) Yoko Tsukamoto：Six sigma and Infection Prevention, Univ. of California San Francisco, 2010（，8）.
 - 19) 塚本容子：人間工学の感染管理への適用，APICトピックスセミナー，2010（，9）.
 - 20) 塚本容子：ナースプラクティショナーの展望，札幌西ロータリークラブ，2010（，9）.
- (6) 社会活動
- 1) 川村三希子：平成22年度北海道がん対策推進委員.
 - 2) 川村三希子：平成22年度北海道専門分野（がん・糖尿病）看護師育成検討会.
 - 3) 川村三希子：日本緩和医療学会 代議委員.
 - 4) 川村三希子：日本がん看護学会 評議委員・査読委員.
 - 5) 川村三希子：日本緩和医療学会 疼痛ガイドライン作成委員.

- 6) 川村三希子：日本緩和医療学会 消化器症状ガイドライン作成委員。
- 7) 川村三希子：平成22年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業『緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究』班ELNEC-Jガイド改訂委員。
- 8) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部役員。
- 9) 川村三希子：ホスピスケア研究会札幌分会世話人。
- 10) 川村三希子：日本死の臨床研究会北海道支部常任幹事。
- 11) 川村三希子：札幌ホスピス緩和ケアネットワーク常任幹事。
- 12) 川村三希子：kanwa-n-net世話人代表。
- 13) 川村三希子：医師のための緩和ケア教育プログラム(PEACE)ファシリテーター，札幌，2010(，10)11日～12日，帯広，2010(，2)20日～21日。
- 14) 川村三希子：がんプロフェッショナル養成プランがん看護インテンシブコース責任者。
- 15) 川村三希子：NPO市民と共に創るホスピスケアの会。がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」運営・企画。
- 16) 塚本容子：International Council of Nursing, HIV-AIDS Network Advisory.
- 17) Yoko Tsukamoto：UNAIDS, Asia Pacific Region Consultant.
- 18) Yoko Tsukamoto：The Nurse Practitioner Journal, International Editorial Advisory Board.
- 19) 塚本容子：戦略的大学連携支援事業連絡調整会議構成員およびワーキンググループメンバー。
- 20) 塚本容子：文科省学びなおし事業担当委員。
- 21) 塚本容子：日本NP協議会メンバー。
- 22) 塚本容子：NTT東札幌病院，倫理教育担当。
- 23) 長谷佳子：第4回日本慢性看護学会学術集会企画委員。
- 24) 長谷佳子：第4回日本慢性看護学会学術集会 実行委員。
- 25) 長谷佳子：北海道呼吸不全研究会幹事，2009(，10)～2010(，3)。
- 26) 長谷佳子：北海道看護協会訪問看護師養成講習会「医療機器使用による呼吸管理Ⅰ」講師，札幌，2009(，11)。
- 27) 長谷佳子：北海道総合在宅ケア事業団副管理者研修「課題解決のための問題解決技法」講師，旭川，2009(，11)。
- 28) 長谷佳子：平成22年度 医療法人溪人会札幌西円山病院看護部職員研修会「慢性閉塞性肺疾患(COPD)をもつ高齢者の看護」講師，札幌，2010(，8)。
- 29) 長谷佳子：KKR札幌医療センター看護部 平成22年度看護研究指導。
- 30) 長谷佳子：慢性疾患看護専門看護師研究会 幹事。
- 31) 長谷佳子：日本慢性看護学会特別委員会ワーキンググループ，2010(，6)～。
- 32) 草島悦子：がんプロフェッショナル養成プランがん看護コメディカルコース・インテンシブコース担当者。
- 33) 北村美奈子：札幌国際情報高校模擬講義講師，2009(，10)。
- 34) 北村美奈子：北海道社会保険病院看護部 研究指導，2009(，10)～2010(，9)。
- 35) 北村美奈子：倶知安厚生病院 看護部 研究指導，「看護研究について」講師，2010(，7)。
- 36) 高橋久江：北海道社会保険病院看護部 研究指導，2009(，10)～2010(，9)。

大学院担当

教授：石垣 靖子

(3) その他の論文

- 1) 石垣靖子：緩和ケアをともに学ぶ，教える－伝えようとするスタッフのために，青海社 2009(，10)。
- 2) 石垣靖子：新人看護職員研修，ナーシング・トゥデイ，日本看護協会出版会，4-5，2010(，3)。
- 3) 石垣靖子：緩和ケア Vol.20. No.2 青海社 P.154，2010(，3)。
- 4) 石垣靖子：新人看護職員研修に関する検討会：日本看護管理学会誌，30-35，14(1)，2010。

(5) 講演

- 1) 石垣靖子：終末期医療の現状の課題－緩和ケアの立場から－(社)日本看護協会 神戸研修センター2009. 10. 9 神戸
- 2) 石垣靖子：倫理的ジレンマについて考える金沢大学附属病院看護部研修 2009. 10. 9 石川県
- 3) 石垣靖子：がん看護における看護倫理－アドボケートとしてのナースー 石川県立看護大学 がん看護における倫理調整 講演会 2009. 10. 10, 石川県
- 4) 石垣靖子：新人看護職員の臨床研修制度の創設にむけて 第14回日本看護サミット北海道 '09プログラム 看護の未来を拓く 2009. 10. 14・15, 札幌
- 5) 石垣靖子：傍らにいたいということ－緩和ケアの実践

- を通して－鹿屋医療センター2009, 10. 17
- 6) 石垣靖子：新人看護職員の現状と卒後臨床研修 鹿児島県看護協会 2009, 10. 17, 鹿児島
 - 7) 石垣靖子：看護倫理 京都府看護協会看護研修センター2009, 10. 23
 - 8) 石垣靖子：看護倫理 北海道看護協会 2009. 10. 30, 札幌
 - 9) 石垣靖子：出合いを重ねて 市民と共に創るホスピスケア講座 2009. 11. 1
 - 10) 石垣靖子：人を育てるとのこと－看護管理の原点－古賀総合病院研修 2009. 11. 2
 - 11) 石垣靖子：医療・福祉の基盤としてのホスピス・緩和ケア 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 2009. 11. 3
 - 12) 石垣靖子：“傍らに在る”ということ－アドボケートとしてのナース－三重大学医学部附属病院 2009. 11. 9
 - 13) 石垣靖子：“人を育てる”という文化を創造する組織づくり 三重大学医学部附属病院管理者研修 2009. 11. 10
 - 14) 石垣靖子：“達成感を分かち合う”組織づくり 福岡県看護管理者研修 2009. 11. 16
 - 15) 石垣靖子：共に同じものに向かうケア－ホスピス・緩和ケアの原点－鹿児島緩和ケア・ネットワーク第12回大会 2009. 11. 28
 - 16) 石垣靖子：傍らに在ること－喪失，そして希望へ－第15回臨床死生学会シンポジウム 2009. 12
 - 17) 石垣靖子：リーダーシップ・エキスパート研修 2009. 12. 1
 - 18) 石垣靖子：医療の本質はやさしさ－ホスピスケア・緩和ケアをとおして－第5回みやぎ在宅支援ドクターネット 2010. 1. 10
 - 19) 石垣靖子：臨床倫理神奈川県看護協会平成21年度緩和ケア認定看護師教育課程講義2010. 1. 30
 - 20) 石垣靖子：人間として尊重する医療－ホスピスケアをとおして－千葉大学ホスピスケア講座，2010. 2. 2
 - 21) 石垣靖子：いのちを支えるふれあい－ホスピス・緩和ケアをとおして－沖縄県在宅ターミナル研修会，2010. 2. 6
 - 22) 石垣靖子：人を育てるとのこと 沖縄県実習指導者講習会 2010. 2. 6
 - 23) 石垣靖子：臨床における看護倫理 医療法人母恋天使病院 2010. 2. 9
 - 24) 石垣靖子：医療チームとして取り組む倫理 砂川市立病院研修会 2010. 2. 15
 - 25) 石垣靖子：ファーストレベル研修北海道欄後協会 2010. 2. 19
 - 26) 石垣靖子：より良い看護の実践を目指して－臨床における倫理を考える－市立室蘭総合病院 2010. 2. 20
 - 27) 石垣靖子：緩和ケアについて 市民講公開講座がんの治療・緩和
 - 28) 石垣靖子：人を育てるとのこと 北里大学保健衛生専門学校 2010. 3. 5
 - 29) 石垣靖子：看護を志す後輩に伝えたいこと－ホスピスケアを通して－北海道医療センター附属看護学校 2010, 3. 11
 - 30) 石垣靖子：共に同じものにケア－ホスピスケアをとおして－旭川市社会福祉協議会職員研修2010. 3. 24
 - 31) 石垣靖子：いのちに寄り添う 市民活動共同開催講座2010. 3. 30
 - 32) 石垣靖子：“こころが結ばれるケア”を目指して 日本死の臨床学会北海道支部2010年度春の研究会，2010, 4. 17
 - 33) 石垣靖子：患者に寄り添う看護とは～臨床の場に存在する倫理について～ 泉大津市立病院研修，2010. 5. 8
 - 34) 石垣靖子：傍らに在るとのこと－ホスピスケアの実践をとおして－あいちホスピス研究会，2010. 5. 22
 - 35) 石垣靖子：新人看護職員研修に託す思い 広島県看護協会総会 特別講演 2010, 5. 30
 - 36) 石垣靖子：“傍らに在る”ということ－ホスピスケアの実践を通して－道新文化センターがん特別セミナー2010. 6. 5
 - 37) 石垣靖子：がん末期における倫理的諸問題 平成22年度ナースのためのホスピス・緩和ケア研修日本看護協会 2010, 5. 26
 - 38) 石垣靖子：看護倫理 北海道医療大学 認定看護師研修センター 2010. 6. 15
 - 39) 石垣靖子：緩和ケアにおける看護師の役割－トータルペインとQOLの概念理解－旭川医科大学大学院医学系研究科 2010. 6. 23
 - 40) 石垣靖子：意思決定を支える援助 旭川医科大学大学院医学系研究科 2010. 6. 30
 - 41) 石垣靖子：医療の質と臨床倫理 札幌南青洲病院研修会 2010. 7. 2
 - 42) 石垣靖子：新人看護職員研修体制の構築・企画と評価 社団法人京都府看護協会研修責任者研修 2010. 7. 6・7
 - 43) 石垣靖子：がん看護学総論がん看護の課題と展望 がん化学療法看護認定看護師講義 北海道医療大学

2010, 6. 17

- 44) 石垣靖子：緩和ケア総論 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程講義 2010, 7. 9
- 45) 石垣靖子：看護専門職論－臨床倫理－ 青森県看護協会ファーストレベル研修 2010, 7. 16
- 46) 石垣靖子：医療・福祉の原点としての緩和ケア 山形県・酒田市病院機構研修会 2010, 7. 24
- 47) 石垣靖子：がん患者の全人的ケアセルフケアを支援するがん看護のちに寄り添うがん看護をめざして 住友病院公開講座 2010, 8. 6
- 48) 石垣靖子：ホスピス緩和ケアの歴史と現状ナースのためのホスピス緩和ケア研修 2010, 8. 25
- 49) 石垣靖子：サードレベル研修青森県立保健大学認定看護管理者教育課程講義 2010, 8. 26・27
- 50) 石垣靖子：働く女性へのメッセージー看護師として生きてきてー北海道武蔵女子短期大学 2010, 8. 29
- 51) 石垣靖子：がん化学療法をうける患者とその家族の意思決定を支える 青森県立保健大学 がん化学療法認定看護師 2010, 8. 30・31
- 52) 石垣靖子：終末期医療の現状と課題ー緩和ケアの立場からー 日本看護協会神戸研修センター 2010, 9. 11

(6) 社会活動

- 1) 石垣靖子：公立法人札幌市立大学（バリアタイプ・ケア担当），2009, 4～現在.
- 2) 石垣靖子：公立法人札幌市立大学 認定看護管理者制度サードレベル（経営者論）2009, 7～現在.
- 3) 石垣靖子：旭川医科大学大学院医学系研究科 客員教授（がん看護特論 I）2009, 4～現在.
- 4) 石垣靖子：青森県立保健大学 認定看護管理者制度サードレベル（経営者論）2009, 4.
- 5) 石垣靖子：青森県立保健大学 がん化学療法認定看護師 教育課程（意思決定を支える）2010, 9.
- 6) 石垣靖子：厚生労働省 新人看護職員に関する検討会委員（座長）2009, 3～現在.
- 7) 石垣靖子：札幌市 産婦人科救急医療対策協議会委員，2009, 2～2010, 3.
- 8) 石垣靖子：札幌市 札幌の医療を考える会，2009, 3～現在.
- 9) 石垣靖子：北海道 北海道総合保健医療協議会専門委員会看護対策小委員会委員，2010, 7～現在.
- 10) 石垣靖子：財団法人 笹川医学医療研究財団 理事，2007, 6～現在
- 11) 石垣靖子：北海道総合保健医療協議会医療専門委員会 看護対策小委員会委員，2010, 8～2011, 3.